

校長室だより第 44 号（令和 8 年 2 月 13 日）

お詫び

2 月 9 日に発行するつもりでしたが遅くなり、話題も少し前のものとなっています。申し訳ありません。

本日（2 月 9 日）の登校時刻繰り下げにご協力いただきありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

日曜日（2 月 8 日）には、思っている以上に雪が降りびっくりしました。きっと子どもたちは大喜びだったことでしょう。私の家の近所の子どもたちも雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりとはしゃいでいました。大人は雪かきやら選挙やらで大変だったのではないのでしょうか。月曜日に子どもたちと雪合戦をするのが楽しみだったのですが、ほとんど解けてしまい校庭はぐちゃぐちゃで遊べませんでした。残念です。

さて、今回は「節分」についてです。

小倉小学校の子どもたちに、「節分」の 2 大行事である「豆まき」と「恵方巻を食べる」をどれくらい体験したのかを調査してみました。

（※ 1・2 年生は全学級。3～6 年は抽出学級）

	豆まきをした	恵方巻を食べた
1年生	50%	56.5%
2年生	47.6%	68.5%
3年生	36.5%	59.6%
4年生	53.7%	75.9%
5年生	28.0%	48.0%
6年生	30.0%	65.0%
全体	45.8%	63.1%

1 年生の数値が高く、6 年生が低くなると予想しましたが、そうとは限らない結果となりま

した。3年生以上は抽出学級としたので、偏りが出たのかもしれませんが。数値に凸凹はあるのですが、どの学年も「恵方巻を食べた」ことの方が「豆まきをした」よりも数値が高くなっています。恵方巻を食べる習慣は、関東地方では21世紀になってから始まったと記憶しています。つまりわりと新しい習慣なのですが、「豆をまく」を超えているのですね。あと数年たつと、「鬼は外！福は内！って何？」なんて言うことになるかもしれません。

一口メモ・・・恵方巻を食べる文化は、戦国時代からあったとか江戸時代に始まったなど様々な説があります。

そういえば、2月3日の夜に散歩をしても「鬼は外！福は内！」という掛け声が聞こえてきませんでした。豆まきをするご家庭が減少している傾向にあるのですね。

20年以上前の話になります。節分の日に私は鬼に扮し、家の中で暴れまくって(?)いました。子どもたちは泣き叫び、これはまずいとお面を取っても泣き止まず、しばらくの間、長女や次女から嫌われて(?)いたのを思い出します。お家の誰かが鬼に扮して、豆まきをすることは、家族のよき思い出となると思うのです。

節分だけでなく、ひな祭りやお花見、端午の節句、お盆、お月見、クリスマスなどの季節の行事や七五三、誕生日を祝う家族のイベントを大切にすると、幸福度が上がるデータもあります。今後も、家族の行事を大切にしてほしいと思います。